

の先生たち

きょういく 通信

学校教育課

TEL0859-54-5211

町では、5人のALT（英語指導助手）が学校などで英語の指導をしています。中学校での楽しく魅力的な英語の授業、小学校・地域での国際交流活動などを大変熱心に行っています。

その内の二人、ジェフ先生（2年間勤務）とジェームス先生（1年間勤務）が、7月末で任期を終えました。帰国を前にした二人のメッセージと、引き続き町の学校で指導を続けていく3人のALTから、町の印象や、残り任期への抱負などのメッセージを紹介いたします。

ありがとう！さようなら！

ジェームス先生& ジェフ先生



ジェームス パーカー
James・Parker (24歳)

出身：アメリカ・テキサス州
趣味：レスリング・ランニング
・フリスビー



ジェフ チョウ
Jeff・Cho (27歳)

出身：アメリカ・カリフォルニア州
趣味：バスケットボール・ビリヤード

ジェフ先生からの メッセージ

もっともよそよそしく、もっとも温かく、もっともわかりにくく、もっとも勉強になり、もっとも利用不十分なのに、とても実りある730日間でしたので、短い文章でどう語るべきか私は分らない。(だって、最上級形容詞は使い尽くしてしまっただから。)

私が、アメリカに帰ったら「日本は、どうだった?」と、みんなに聞かれると思います。それに対して、私は多分「全くもってアメリカのようなところだよ。全てが日本化されているけどね。」と、ジョークで返すと思います。実際、私が答えるこ

ジェームス先生からの メッセージ

私が、最初に名和中学校の生徒たちに言われた言葉は「私たちは、Crazy(狂った)Girls(女の子たち)だよ。」でした。その瞬間から、私が日本に来た一番の理由は、生徒たちのためだと思います。彼らは、毎日私のところにやって来てくれて、いつもおもしろおかしく笑わせてくれて、そのおかげで本当に楽しく日本で過ごせまし

とは何でも「日本」についてではなく「アメリカではないこと」についてになってしまいうしょう。これは、国際化の悲しい真実ですよ。

本当は、ここで書くのではなく、皆さんに直接お別れの挨拶をしたいのですが、それができるかどうかわかりません。そこで、せめて、日本を離れる時には、愉快に出て行こうと思います。最後の時に、どうやって皆さんとお別れすればいいかわかりませんが、私は、こう言って日本を離れます。・「お先に失礼します！」

(※中山中学校担当でした。)

た。

これから、私が日本について思い出す時、常に生徒たちの元気な笑顔が目に見え、でくることがでしょう。大山でご飯を食べさせてくださった方々、歌を歌わせてくださった方々、遊んで下さった方々、ありがとうございました。そして最後に、一緒に楽しく遊んでくれた素晴らしい大町の子どもたち、ありがとう。(※名和中学校担当でした。)